

2026年3月期  
決算説明資料

日本電子株式会社

2026. 5. 15

# 2025年度決算サマリー

## 2025年度 実績

- 営業利益は公表240億円に対して20億円増の260億円、当期純利益は過去最高を更新、ROEは15.7%
  - 【売上高】 1,794億円 (前年比 △8.8%)
  - 【営業利益】 260億円 (同 △26.7%)
  - 【為替】 151円/USD、175円/EUR
- 理科学・計測機器事業：中国における補正予算の一巡による反動減に加え、米国での科学技術関連予算削減の影響を受け、減収減益
- 産業機器事業：マルチビームマスク描画装置およびシングルビームマスク描画装置の売上台数が前年比減少、一方でスポットビーム型電子ビーム描画装置は、AIデータセンター向け光トランシーバーに用いられるDFBレーザーの量産立ち上げを含む生産工程向けの需要が拡大
- 医用機器事業：2026年4月1日付でシスメックス社へ譲渡

## 2026年度 事業見通し

- 米国における科学技術関連予算削減などを背景とした不透明感はあるものの、電子顕微鏡を中心とした引き合いは引き続き堅調見通し
- マルチビームマスク描画装置の市況環境に回復の兆しがみられるものの、需要の立ち上がりには引き続き時間を要しており、前年度並みの業績を予想
  - 【売上高】 1,640億円 (医用機器事業の譲渡に伴う影響により減収)
  - 【営業利益】 265億円
  - 【為替前提】 155円/USD、175円/EUR

※ 2026年度事業見通しの詳細および中計のアップデートについては、5月29日開催の決算説明会にて説明予定

# 2025年度決算実績 (P/L)

■ 売上高 1,794億円 (前年比 △8.8%)、営業利益 260億円 (同 △26.7%)

連結数値(P/L)	24年度 実績 ①	25年度 実績 ②	(単位: 億円) 前年比 ②-①
1 売上高	1,967	1,794	△ 173
2 売上原価	1,043	963	△ 80
3 (原価率)	53.0%	53.7%	0.7%
4 売上総利益	924	830	△ 94
5 販管費	449	456	7
6 研究開発費	120	114	△ 6
7 販売費及び一般管理費合計	569	570	1
8 営業利益	355	260	△ 95
9 営業外収益	12	29	17
10 営業外費用	23	3	△ 20
11 経常利益	344	286	△ 58
12 特別利益	29	11	△ 18
13 特別損失	124	2	△ 122
14 税前当期純利益	250	295	45
15 法人税等	63	74	11
16 当期純利益	187	221	34
為替レート(1\$=)	¥152	¥151	
為替レート(1€=)	¥164	¥175	

## 営業利益増減要因分析 (対 前年比)

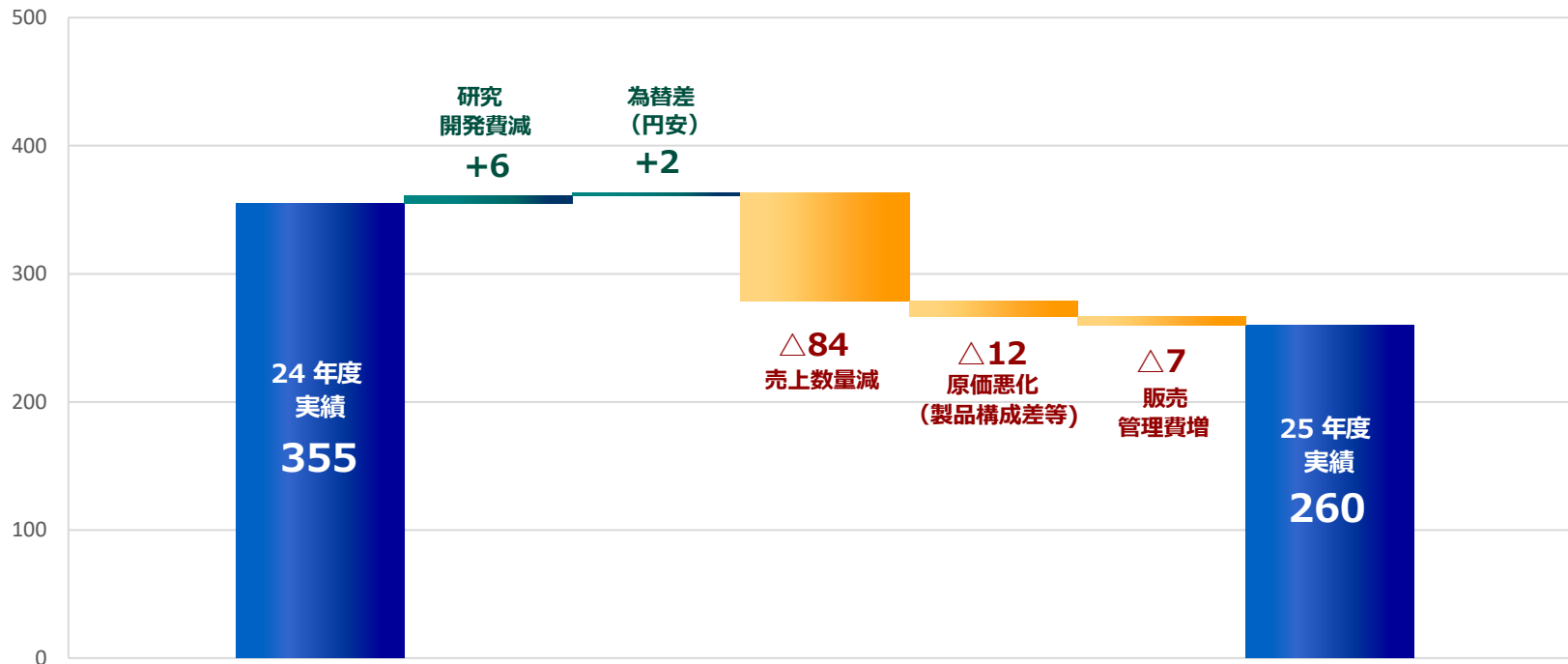
(単位: 億円)

<b>(A)プラス要因</b>	8
1. 研究開発費減	6
2. 為替差(円安)	2
<b>(B)マイナス要因</b>	△ 103
1. 売上数量減	△ 84
2. 原価悪化 (製品構成差等)	△ 12
3. 販売管理費増	△ 7
<b>(A)+(B)</b>	△ 95

# 利益の増減要因

## 営業利益増減分析

(単位：億円)



# 事業セグメント別連結売上高・営業利益の推移（通期実績）

（単位：億円）

		24年度 通期実績①	25年度 通期実績②	増減 (②-①)	増減率
全社	売上高	1,967	1,794	△173	△8.8%
	営業利益	355	260	△95	△26.7%
	営業利益率	18.0%	14.5%	△3.5%	-
	経常利益	344	286	△58	△16.9%
	当期純利益	187	221	34	18.2%
理科学・計測機器事業	売上高	1,248	1,163	△85	△6.8%
	営業利益	150	131	△19	△13.0%
	営業利益率	12.0%	11.2%	△0.8%	-
産業機器事業	売上高	565	481	△84	△14.8%
	営業利益	263	194	△70	△26.4%
	営業利益率	46.6%	40.2%	△6.4%	-
医用機器事業	売上高	154	149	△5	△3.2%
	営業利益	7	1	△6	△90.3%
	営業利益率	4.3%	0.4%	△3.9%	-
全社	費用	65	65	0	△0.2%
	為替レート(1\$=)	¥152	¥151	△¥1	△0.7%
	為替レート(1€=)	¥164	¥175	¥11	6.7%

# 主要勘定の推移

(単位：億円)

(連結)	24年度 通期実績	25年度 通期実績
1 在庫	770	755
2 有利子負債	76	252
3 総資産	2,225	2,240
4 純資産 (自己資本比率)	1,367 (61.4%)	1,449 (59.9%)
5 配当金 (円)	106円	132円
6 設備投資	70	202
7 減価償却費	49	54
8 連結受注高	1,864	1,801
9 連結期末受注残	1,032	1,039
10 海外売上比率	71.2%	67.2%

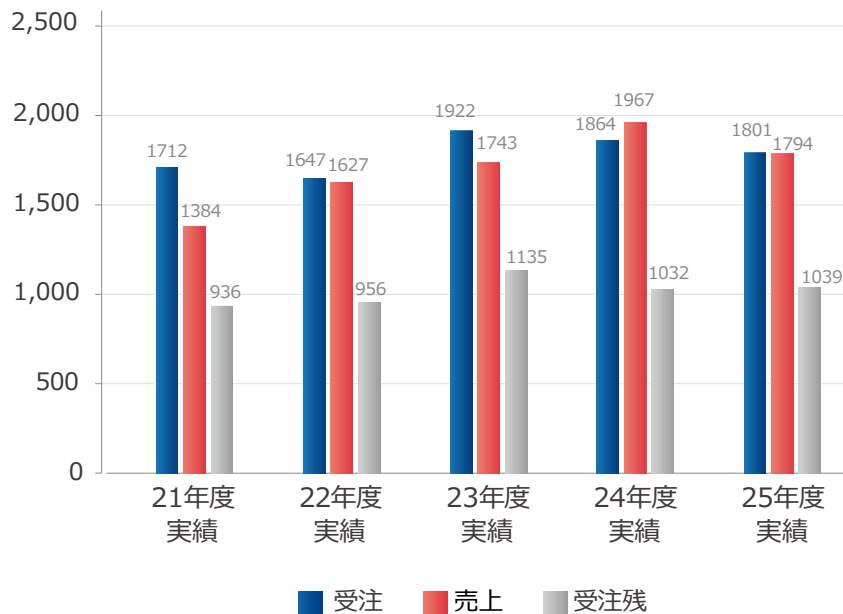
資本効率に係る指標

1 ROE	14.3%	15.7%
2 ROIC*	18.1%	12.3%
3 PBR	1.7倍	1.9倍

\* 社内管理基準に基づく

連結受注・売上・受注残の推移

(単位：億円)



# 医用機器事業の株式譲渡完了

- 2026年4月1日付で、当社医用機器事業のシスメックス株式会社への株式譲渡を完了し、「シスメックスBioMajesty株式会社」として事業を開始

## 新会社の概要

会社名	シスメックスBioMajesty株式会社
所在地	東京都武蔵村山市伊奈平二丁目11番1号
代表者	代表取締役社長 高山 峰晴
設立日	2026年4月1日
資本金	95百万円
事業内容	医用機器の製造・販売・開発研究、およびそれに附帯する製品・部品の加工委託、保守・サービス、周辺機器の仕入・販売



# 自己株式の公開買付けの結果及び自己株式の取得終了

- 当社は、中長期的な企業価値の最大化に向けて、成長投資の推進と財務健全性の維持、ならびに資本効率向上を一体として捉えた資本政策を重要な経営課題の一つとして位置づけており、事業環境や成長機会を踏まえつつ、最適な資本構成のあり方や資本コストを意識したバランスシートマネジメントを行うことで、1株当たり価値の持続的な向上を図ることを基本的な考え方としている
- 2026年2月2日に総額約128億円(上限)、2,500,100株(上限)の自己株式の取得および自己株式の公開買付けを決議
- 2026年2月3日から本公開買付けを実施、本公開買付けが 2026 年 3 月 4 日をもって終了
- 今後も資本効率の向上と企業価値の持続的な成長を実現に向けて、中期経営計画に基づく各種経営施策を着実に推進

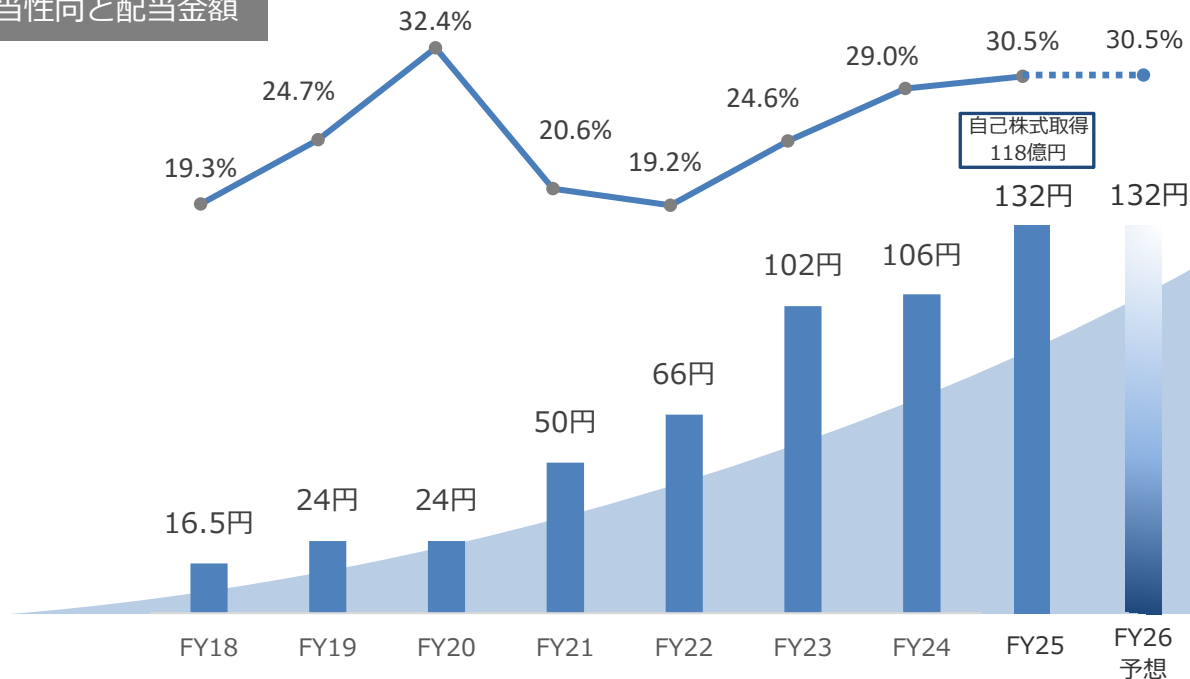
## 自己株式の取得及び自己株式の公開買付けの結果

取得価額の総額	11,840,420,592 円
取得株式の総数	2,300,004 株、発行済株式総数の4.46%

## 安定的かつ継続的な株主還元に向けた取組み

- 目標配当性向30%を基本方針とし、安定的かつ継続的な株主還元の実現を目指す
- 自己株式取得は資本効率の向上、企業価値の持続的な成長に向けて機動的な実施を検討（26年3月期に118億円(230万株)の自己株式取得を実施）
- 自己株式の消却は企業価値最大化の観点から適切な自己株式保有比率内で管理する方針

配当性向と配当金額



#### 資料取扱上のご注意

本プレゼンテーション資料にて提供する情報には、現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく記述が含まれています。

今後、経済情勢をはじめ半導体市況や研究開発投資など、弊社の業績に影響を与える様々な既知または未知のリスクによって、ここに述べられている見通しと実際の結果が異なったものとなることが否定できないことを、ご承知置き願います。

© 2026 JEOL Ltd.